

## 移住・交流に関するアンケート結果の概要

### 1. 地域の人口減少について

- ・秩父市の人口が減少することについては、「問題だと思う」との回答が9割弱を占める。
- ・人口減少対策としては、まずは現在市内にいる人を対象とした回答が多く、「市外への人口流出を防ぐ」、「出産・子育て環境を改善する」といった回答が多くなっている。
- 一方、「市外からの人口流入を増やす」も4割を占める割合で回答されている。

### 2. 市外から秩父市への移住について

- ・移住を受け入れるにあたっての秩父の強みは圧倒的に「自然環境（水、緑、公園等）」が多く、逆に弱みは「雇用機会」や「交通の利便性」が多くなっている。
- ・市外からの移住者の受入については、「受け入れるべき」との回答が8割を超える。
- ・受け入れる移住者の年代は「年代を問わない」が6割を占め、「30代・40代」が約4割で続いている。
- また、受け入れる移住者の人物像には、特にこだわりはない傾向が見られる。
- ・市外からの移住者との交流については、「積極的に交流したい」と「まあまあ交流したい」をあわせると8割を超える。
- ・市外からの移住者への支援については、「積極的に協力したい」と「まあまあ協力したい」をあわせると8割を占める

### 3. 定住等について

- ・秩父市民の定住意向は、「いつまでも住み続けたい」と「当分住み続けたい」をあわせると9割弱を占めており、定住意向は高いと推察できる。
- ・介護が必要になった場合の希望する居住形態は「施設に入居」との回答が5割を占め、「家族との同居」は2割を超えている。
- ・ケア付きの集合住宅へは、「入居したい」と「入居も考えられる」をあわせると回答が6割を占める。

### 4. CCRCについて

- ・移住者に期待することは、特に大きな割合を占める回答はなかったが、「自治会・町会等の地域活動など、地域コミュニティの活性化」や「仕事等の経験・知識を活かした市内企業への技術移転」等の回答の割合が比較的高くなっている。
- ・移住者を受け入れた場合のまちづくりの活性化に役立つイベントや参加したいイベントについては、共に「地域の人たちとの交流」が最も多くなっている。
- ・豊島区との姉妹都市提携について、「知っていた」との回答が6割を占める。

以上

## 【参考情報】

### (調査概要)

#### ◆目的

「秩父市生涯活躍のまちづくり構想」策定のための基礎資料として、市民の意向を把握すべく、18歳から80歳までの市民の方から無作為に選ばせていただいた方を対象として、ご意見やご要望をうかがうためアンケート調査を実施する。

#### ◆調査対象

秩父市民（無作為抽出された3,000名）

#### ◆調査時期

平成28年7月28日（木）～平成28年8月24日（水）

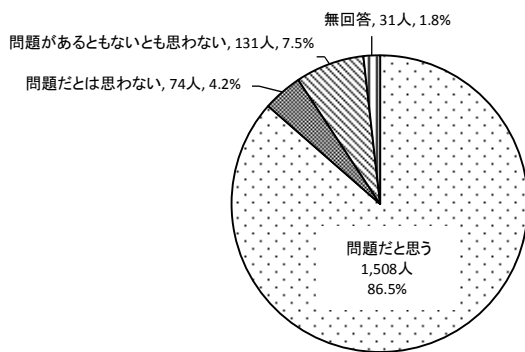
#### ◆調査方法

郵送にて調査票を配布し、紙の調査票で郵送回答されたものを集計。

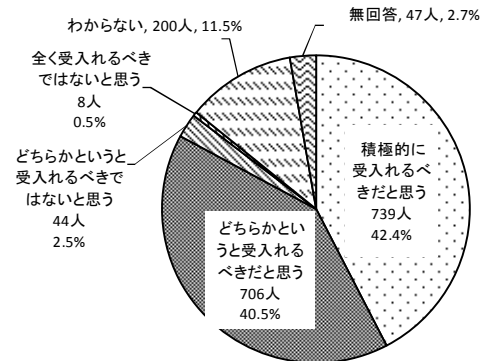
#### ◆回収状況

回答数は1,744、回答率は58.1%。

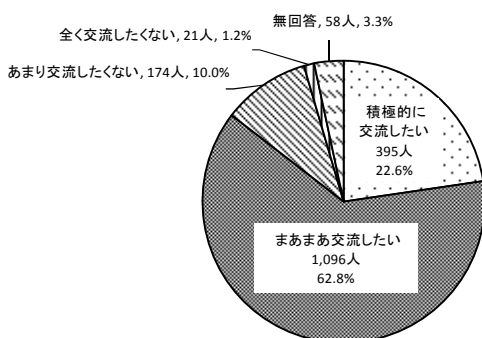
### (集計グラフの抜粋)



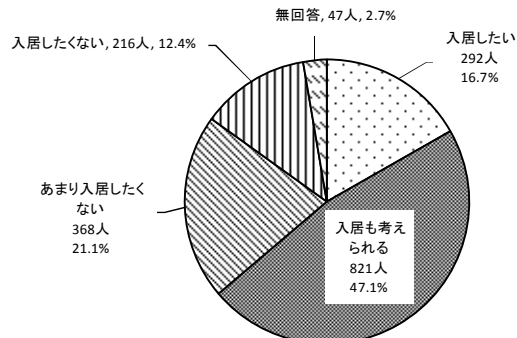
人口減少の問題意識の有無



市外からの移住者の受入に関する意識



市外からの移住者との交流に関する意識



ケア付き集合住宅に関する意識